

培良タイムス

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/>

令和3年1月7日(木)

第9号

京田辺市立培良中学校

TEL 62-9363

新年の目標は「夢への架け橋」

校長 山下 博史

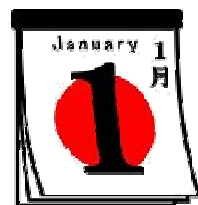
皆さん、あけましておめでとうございます。残念ながら、新型コロナウイルス感染症対策のため、全校が集まってお話しすることがまだできません。



本日、無事に3学期始業式を迎えることができました。今日から、3学期が始まります。3学期は、今年度を締めくくる大切な学期です。そして、3年生にとっては卒業式までの授業日数が僅か44日という短い期間です。

3年生の皆さん、十分健康に気を付けながら目標達成にベストを尽くしてください。

さて新年の目標を皆さんは決めましたか？人生には、大きい小さいはありますが、いくつかの節目があります。入学式や卒業式は環境が大きく変わりますので、よくわかると思います。



新年もその一つです。例えば、1月7日が8日になることと、12月31日が1月1日になることは同じ2日間で変わりはありません。しかし、12月31日を大みそかと言い、1月1日を元日と言うように、特別な日であるととらえられる節目です。

節目と言うと、私は竹を思い出します。竹は、なじみのある植物で、タケノコとしての食用や竹細工のような材料、観賞用とその用途は広く、また日本最古の物語「かぐや姫」に代表されるように、日本人にはとても身近なものです。

また、「柳に雪折れなし」という諺もありますが、竹にも同じことが言えると常々思っています。竹は外部からの強い刺激を受けてもそう簡単に折れたり、倒れたりしない強い植物としてもよく知られています。私は、その強さは竹の「地下茎」と「節」と「空洞」にあると思っています。外部からの刺激を、しっかり張った根が踏ん張り、空洞が柔軟に受け止め、節がしっかりと支えて、曲がってもすぐに元に戻すからではないでしょうか。人生も同様で、今の変化の激しい社会の中で人間として強くしなやかに生きていくには、日々を単なる連なりと思わないで、節目としてとらえて目標を定め、よりよく生きていこうとすることが大切だと思います。新年というのは一年たつと必ずまた来ます。そう考えると、新年は目標を持つ絶好の機会だと思いませんか？ここまでが始業式の式次でのお話です。



ここからがその続きです。学校には目標がいくつもあります。学校全体として、学校教育目標があり、学年や学級には学年目標、学級目標、さらには生活目標、各教科の目標と、いたるところに目標があります。覚えきれないほどの目標があつて、

人によっては消化不良をおこしているかもしれません。

なぜ、こんなに目標が多いかわかりますか？それはここが学校だからです。みんなが心身ともに健全に成長するためには、目標に向かって取り組むことが極めて重要で有効だからです。

「人は易きに流れる」という言葉があります。人間は楽な方へ流れがちであるという意味で、「面倒だ」「やりたくない」と、なかなか思うように物事に取り組めない人もいます。



もちろん、目標を立てなくてもきちんとできる人もいます。しかし、そんな人ばかりではありません。

だからこそ、自分で目標を掲げて自分の可能性を実現化しようとするのです。そこに、人間としての良さがあります。しかも、学校が決めた目標と違って自らが主体的に決めるのですから、少しくらいの挫折や困難は乗り越えられるだけの気持ちの強さは持っているでしょう。「学校や親が勝手に決めたんだから」という言い訳はできません。

マズローという有名な心理学者が「今、現実自己の可能性を現実化できない人間に、将来自己の可能性を実現化しなさい」と言っても難しい」と言う意味のことを言っています。私が学級担任だったころ、「先生、3年生になったら勉強頑張るから」と言い、そのあと「部活動引退したら頑張るから」、そして「2学期は頑張るから」と言い訳する生徒がいましたが、今できないことが3年生で本当にできるのか？部活動引退後できるのか？とよく論じたものでした。厳しく言えば、今できないことは、将来実現できるわけがないということです。そう考えると、目標は一年間で達成可能で、やり遂げたと実感できる具体的なものでなくてはなりません。

「何事にも全力で挑戦する」、「授業をしっかり受ける」という目標はいいように聞こえますが、達成できたかどうかわかりにくいですね。だから目標は「今まで習った英単語をすべて覚える」、



「部活動で山城大会に出場する」など具体的な方がいいです。また、「毎日一時間以上必ず予習復習をする」、「本を100冊読む」、「家の手伝いを一日一回以上する」というように、数値化することも大切です。実行可能ということは、遊ぶ時間や休養する時間も考慮したゆとりのある目標でないと嫌気がさしてしまうかもしれません。1年1年の地道な目標の積み重ねが、10年、20年という大きな目標につながると私は確信しています。

そういった意味で、新年の目標は表題のように「夢への架け橋」になります。もちろん、中学生ですから、まだ確固たる夢を持っていないとしても不安になる必要はありません。目標を達成する積み重ねが、自らの夢を育てていくと思います。

まだ新年の目標を決めていない人、具体的な目標になっていないと感じている人はぜひ、「達成可能で明確な新年の目標」を決めましょう。君たち一人一人の充実した一年を期待しています。

3学期は短いけれど、とても大切な学期です。新しい気持ちで、一日一日を大切に、自分の目標の実現に向かって元気にスタートしましょう。



咲きほこれ！B-Flowerプロジェクト

12月2日（水）、道徳の時間に現在コロナ禍で面会が制限されている施設の高齢者の方の気持ちについて考え高齢者の方々に向けたメッセージカードを全校で作りました。また、本校のボランティア活動であるB-Flowerプロジェクトの昨年度の映像を見て、ボランティアについても考え今年度のB-Flowerプロジェクトの参加者を募りました。9日（水）の放課後、生徒会本部や環境委員が中心となって取り組んだB-flowerプロジェクトには約150名の生徒がボランティアとして参加し、門松を作りました。15日（火）には、生徒がこの日のために練習したリコーダーやハンドベルの演奏をライブ映像で配信しました。また、ハンドベルの『ふるさと』の演奏に合わせて、施設の利用者の方も一緒に歌ったり、Zoomを活用し施設の方々と交流を行ったりしました。短い時間の交流ではありましたが、施設の方々には、とても喜んでいただきました。施設や保育所などにも、生徒が作った門松や寄せ植えを飾っていただいています。昨年度から始まった培良中学校のボランティア活動でしたが、初めて参加した生徒にとっても、とても良い経験となりました。素晴らしい経験の場を提供していただいた各施設の方々には本当に感謝します。ありがとうございました。



美一クリーン☆保健委員会☆

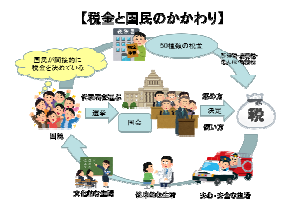
保健委員会が『美一クリーン』の取組を行いました。

各校舎の真っ白いシンプルな壁が、ウォールステッカーで素敵にデコレーションされました。

なんとなく気持ちもトイレの雰囲気も明るくなりますね。



培良中学生の頑張り



全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁主催「令和2年度 税についての作文」

3年1組 松尾優大くん 宇治納税貯蓄組合連合会会長賞

3年2組 水嶋葵衣さん 京田辺市長賞

3年3組 河野光くん 山城地区租税教育推進協議会会長賞

第8回京都府小論文グランプリA分野

2年1組 橋本 憩さん 最優秀賞

